

KANUMA NO MEISHO

鹿沼の名匠

おぎはら
かずお
萩原一雄

◆木製建具製造

★鹿沼市



萩原一雄

先代から受け継いだ技術や感覚と、些細な部分までこだわり、心を込めて仕上げるという信念で作られる建具。主に、格子戸や障子の製造、修復を手がける萩原さんは、家業である建具製造を承継し3代目です。物心ついた時から木が身の回りにあり、祖父や父の見よう見まねで、自然とこの道に進みました。注文建具の製造のほか、歴史ある建物で使われている建具等の修復や復元建具の製作等の依頼にも応じています。

指定登録有形文化財家屋の舞良戸修復作業では、戸の下部の腐り直しについて依頼があり、修復作業後の違和感がないよう上部で使われている木と似た状態の木材を見つけ出し修復を行い、その見事な出来に依頼主からも高い評価を得ました。

それぞれの木の持つ性質を知り、生かして製作される萩原さんの建具。「ホゾ」と「組手」の加工はきついと入らず、緩いと外れてしまうため、基本となるこの加減が一番気を遣うと言います。

「建具は日々の暮らしの中にあるもの。木製建具は、部品がないから直せないということではなく、調整すれば長く使っていける。」と萩原さん。

先代から継承した伝統的な技術と豊富な経験を生かしながら、現代の生活様式にも合致し、若い世代にも取り入れやすいデザイン建具の新規製作にも意欲的に取り組みます。

「新しい挑戦をし続け、時代の流れやニーズに見合う建具を製造することで、“木のまち鹿沼”を盛り上げていきたい。」と熱い思いを語ります。